

地域の見守り役の一端を担う配食サービスを通じて得た学びをシェアします。

年末年始の営業予定

当店は大晦日まで通常営業です。お正月3が日のみお休みをいただきます（1年を通して休みは日曜日と3が日です）。一応どこの配食事業者もやるようにおせち料理の販売なんかもありました。当店は今年開業したばかりですし、顧客数はまだまだ少ないほうなのですが、お勧めすると、躊躇なくご注文してくださる方が意外に多くて、私がビックリしました。有難いことです。

おせち料理が経済的にきびしい方には、冷凍食であるカロリー調整食（おかずのみで750円）をご用意しております。普通食（同490円）と比べるとどうしてもお値段は張ってしまいますが、普通食はチルドで日持ちしないため、上記のような対応となります。おせちは締め切りましたが、カロリー調整食は常時販売中です。

年末年始オススメ映画

私の趣味は映画・音楽・読書と完全なインドア派です。今年は独立にともないほとんど自由時間を持っていませんが、昨年2020年は映画を200本観ました。皆さんはコロナが一段落といった年末年始をいかが過ごされますか？

今はAmazonプライムやNetflixなどで映画も見放題なので、お正月休みに色々観てやろうという方もいるのではないのでしょうか。今回はただの映画ではなく「高齢者をテーマにした映画」という縛りで紹介を…と思ったのですが、すべてがすべて観たわけではないのでただの私のオススメを書き並べたいと思います。

①素晴らしき哉、人生！（1946年）

アメリカにおける忠臣蔵、といえるぐらいクリスマスの定番映画です。私も好きで2回観ました。夢を抱きながらも地元に縛られる主人公に起こる奇跡のお話です。古さを感じさせない演出、判ると泣ける伏線など最高です。いま「世界線」とか言ってるパラレルワールド的SF作品は、これが元になっていると思います。

②大統領の執事の涙（2013年）

綿花畑の奴隷からホワイトハウスの執事へ。7人の大統領に仕えた主人公の半生とともに、アメリカの公民権運動の歴史が綴られます。執事としての仕事は順風満帆、でも家族はいろいろあり…。オプラ・ウィンフリーやマライヤ・キャリーなど実はキャストも凄い豪華なんです。あ～泣ける。

③きつとうまくいく（2009年）

これは有名なインド映画ですね。Amazonで★5満点だからどれどれって観たら凄まじいほど傑作でした。笑って泣けて踊りもあって。インドの超学歴・格差社会を風刺した内容ですが、説教臭さが一切ないんです。年に一度は観たくなります。

『ケアニン』

『老後の資金がありません』

『ぼけますからよろしくお願ひします。』など高齢者や認知症をテーマにした映画もたくさんありますね。『ぼけますから～』はオススメです。

いかがでしたか？皆さんのオススメ映画も教えてください⇒f.yokosukahonten@gmail.com

利用者様の声

「だんだん美味しくなってきました」
（横須賀市・M様）

⇒当店の開業からお弁当を毎日取ってくださっているM様。日を追うごとに「おかずが美味しくなってくる」とお言葉をいただきました。食材は変わらないのになぜでしょう？盛り付けひとつで味は変わるものなのかもしれません。日々成長しています。

編集後記 and more

配食のご依頼をいただいた際、真っ先に尋ねるのはお名前ではなく配達先のご住所です。配食は各店で配達エリアが決まっているので勝手にエリア外に配達することはご法度なのです。エリア外の利用者様には、近隣の当店チェーンをご案内させていただいております。

当店は徐々にエリアを拡大しています。